



日動労千葉

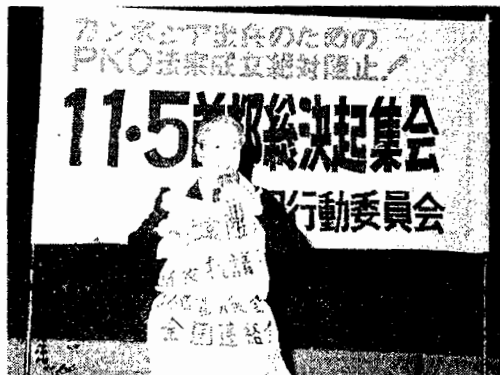
国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.11.12 No. 3492

PKO法案成立を阻止しよう! リクルートまみれの宮沢政権を許すな



PKOは出発点といなおり

一月五日、六本木・三河台公園において、反戦共同行動委員会主催の「PKO法案成立阻止！自衛隊の海外派兵反対！首都総決起集会」が開催された。

この日は、PKO法案を成立させるためだけに招集された臨時国会の初日であると同時に海防政権で成し得なかつた自衛隊の海外派兵をなんとしても強行させるべく、新

PKO第二ラウンドでノックアウトしよう

集会は、一八時三〇分から、部落解放同盟全国連合会(準)の小森さんによる「巨大な反戦行動をつくり上げよう」という力強いあいさつで開催された。

まず、主催者を代表して反戦共同行動委世話人

たに発足した宮沢政権の第一日目だったのである。

宮沢は、総理への就任にあたって「PKO法案の早期成立を目指す」として、反動的決意をたぎらせて労働者・市民に襲いかかろうとしているのである。

また六日に行った記者会見でも「PKOは日本の人的貢献の出発点」であるとして、PKOはほ

んの始まりであり、これが成立すればもっと大がかりな派兵(カンボジアなどへ)を狙っていることを公然と明らかにしたのである。

ここで、宮沢のなすがままにPKO法案を成立させてしまったら、本当に戦争への道を突き進んでしまうことになる。絶対に阻止しなければならぬのである。

の小西誠さんより「今国会は、カンボジア派兵へ間に合わせることを考えたものだ」と、臨時国会での宮沢の狙いを明らかにした。

つぎに、長谷川英憲都

議より基調提起が行われた。①宮沢政権はこれまでのどの政権に比べても最も反動的な政権である。宮沢政権は、改憲を目標にし、アジアへの軍事進出を狙っている。②PKO成立のために一年間に三回も国会を開催してきている。社・共はもとより連合も「国際貢献」と称して成立を担おうとしている。③戦後の歴史的転換点に立っている今、

大衆運動の爆発を労働者を中心にちかちとらなければならぬ。④一月中旬旬には臨時国会の山場を迎える。二三日のPKO法案を問うシンポジウム(水道橋)そして二四日全国総決起集会(宮下公園)へ全国から結集しよう、と闘いの方針を明らかにした。

集会後、「法案粉碎」「派兵阻止」のかけ声も高く日比谷公園へ向けデモを闘いぬいた。

いよいよPKO法案をめぐる第二ラウンドの闘いに突入した。全ての力を出しきってPKO法案成立を阻止しよう。

闘いに起つ! 乗務員分科会 (第14回定期委員会)



一月七・八日、乗務員分科会第一四回定期委員会が、九十九里センターにおいて開催された。

委員会は、議長に銚子支部・加瀬利夫委員を選出したあと、来賓として本部・中野委員長が「三月ダイヤ改阻止、JR五万人体制粉碎、動力車乗務員勤務制度の改悪反対の闘い」について、その骨子を明らかにした。質疑応答では、続々と意見等が出され、①限定免許者の共済について(幕張)②運転保安アンケート調査を実施し、動乗動について反対署名運動を展開している(水戸)③労働時間四〇時間、労働基準法の改正について。指導員の無縁対応が悪い。災害時に二〇時間も連絡がない。台風の時運用変更を数回した(新小岩)④乗務員勤務制度における指導員の添乗について(銚子)⑤停車時分の見直しについて(津田沼)⑥予備を出勤予備としてではなく日勤予備とすること(勝浦)⑦災害時の出勤の扱い等について(千葉転)⑧指導員の業務内容について(館山)など熱気をおびた討論を行った。

「JR五万人体制」の中心軸をなす、今次の動乗改悪攻撃は全乗務員を直撃する凄まじいものである。乗務員分科会はその主体として一丸となって阻止する闘いに起つことを全体で確認したのである。

役職氏名	支部	役職氏名	支部
会長 増垣 充	千葉転	役員 福原 克巳	館山
副会長 冬木 浩明	新小岩	高師富士男	勝浦
事務局長 吉田 英樹	千葉転	密本 操	幕張
役員 松戸 彰	千葉転	飯高 文彦	佐倉
斎藤 富雄	銚子	渡辺 照信	勝浦
		勝 浦	